

東京支部設立の主旨

首都圏には、千葉支部、埼玉支部、神奈川支部、東京多摩支部がありますが、ご承知の通り 23 区に支部はありません。首都圏には会員が 1503 名^{*1}（準会員含む）いますが、半分以上の 835 名が支部には所属していません。

山仲間をつくり充実したクラブライフを楽しむためには、そのための「場」が必要ですが、本部には首都圏会員に向けた共益的な事業はなく、また本部にある委員会・同好会が会員を受け入れるキャパシティーは少なくなる傾向にあります。既存の会員の方々はもとより、新入会員の受け皿としての「場」にはなり得ていないのが現状です。ここ数年の入退会者を見ると無所属会員の退会が非常に多くなっていますが、その一因でもあります。

一方、東京には多摩地区をエリアとする東京多摩支部（支部員 294 名）があり、活発な活動がおこなわれていますが、東京全体をテリトリーとして支部活動を運営することは困難な状況です。

ついては、上述の支部に加入されていない会員の皆様に「場」を提供して退会に歯止めをかけるとともに、多大な人口を抱える都心の利点を生かして当会の最重要課題である会員増を図ることができる、東京 23 区内に新たに支部を設けることにしました^{*2}（東京都には、東京多摩支部と東京支部の 2 支部になります）。

支部設立によって、都会の登山愛好家への安全登山の啓発や健康増進、ストレスからの解放、山仲間によるコミュニティなど、多面にわたってニーズを捉え、当会での豊かなクラブライフを提供することが可能になると考えられます。さらに、都市に暮らす人々の環境意識の高さや情報収集能力は当会の公益的な活動に資するものであり、当会の今後の躍進に大いに寄与するものと期待しております。

東京支部の設立主旨と当会の理念に賛同する会員とともに、自由闊達で充実したクラブライフをおくれる、時代に適応した斬新な支部づくりを目指し、東京支部を新たなステージとして日本山岳会全体の活性化に繋げていきたいと考えます。

令和 7 年 2 月

東京支部設立準備会メンバー一同

※ 1 文中の会員数は 2024 年 3 月現在のものです。

※ 2 1947 年から 1967 年まで東京支部が存在しました。詳細は『日本山岳会百年史』をご覧ください。

【参考】首都圏 4 支部と無所属の会員数

	会員	準会員	合計	比率
千葉支部	95	0	95	2.1
東京多摩支部	239	55	294	6.6
埼玉支部	124	30	154	3.5
神奈川支部	123	2	125	2.8
4 支部合計	581	87	668	15.1
首都圏無所属	822	13	835	18.9
首都圏合計	1403	100	1503	34.0
他支部などの合計	2771	150	2921	66.0
総計（日本山岳会）	4174	250	4424	100.0

（2024 年 3 月現在）